



令和8年度 学校だより

もちの木とともに

水戸市立内原小学校

第 3 号

令和8年6月12日

第42回運動会 ～最後まであきらめず、みんなが輝いていました～

5月23日(土)、さわやかなお天気の下、内原小学校第42回運動会が行われました。今年のスローガンは、「4色の絆を深め合い、最後まで諦めずにみんなが輝ける運動会にしよう」です。本校の運動会は、学年混合の縦割り班4チームで得点を競います。4色の赤組レッドサン、緑組ハッピーリーフ、黄色組キロリン、青組ソラクマの団長たちの気合いの入った掛け声で、運動会の幕が開きました。

競技では各組、各学年共、力を合わせて頑張りました。例えば、3年生の「それいけ!なかよしサンドイッチ・ラン(三人四脚)」は初めての種目でした。初めは合わなかった脚運びも練習を重ねて上手になり、チームワークもよくなりました。練習の過程で子供たちは多くのことを学んでいきました。さらに、今年度は、「親子対抗綱引き」を新たにプログラムに入れました。出場希望を募ったところ、沢山の応募があり、保護者の皆様の熱意とやる気を感じました。当日の6年生VS保護者の綱引きは、やはり、保護者の圧勝!子供たちも大人も笑顔で「なかなか面白かった!」という感想をたくさんいただきました。勝っても負けても、みんなが輝いた運動会。みんなでつくってきた運動会。これまでの練習も当日の頑張りも全て、これからの子供たちの力につながることでしょう。

この運動会にあたっては、PTAの方々や地域の皆様にグラウンドの除草や会場準備・片付け、当日の駐車場や警備等に多大なるご協力をいただきました。特に、運動会終了後には、たくさんの保護者の方や卒業した中学生が進んでテントの片付けを行って下さいました。そういったところも学校を支えていただいている力だと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、ご多用の中、ご参観いただき誠にありがとうございました。皆様のご声援、ご協力のおかげで、子供たちの心に残る運動会となりました。心より感謝申し上げます。



レッドサン



ハッピーリーフ



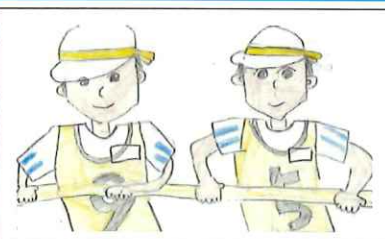
閉会式 児童代表の言葉
六年「こ」
皆さん、今日の運動会では、これまでの練習の成果を出し切り、真剣に競技に取り組むことができたか。
ぼくたち六年生は、借り人競走、旗リレー、そして、親子綱引きをしました。親子綱引きでは、いつも優しいお父さん、お母さんたちがライバルになり、本気でぼくたちの相手をしてくれたことがとてもうれしかったです。大人たちが諦めず、挑んだことで六年生全員の絆が深まりました。そして、親子での真剣勝負は、小学校での最高の思い出になりました。
ぼくは、この運動会で一人一人が諦めずに力を出し切ることで大きな力となることがわかりました。今後の学校生活でも、ここでつちかった団結力でお互いを支え合っていきたいです。
最後に保護者の皆さん、地域の方々、今日は、私たち内原小学校児童のために、力強い応援ありがとうございました。皆さんのおかげで、最後まで全力を出し切ることができ、一人一人が輝く運動会になりました。本当にありがとうございました。



キロリン



ソラクマ



ギリギリだったアンカー
四年「こ」
ぼくは、内原タイフーンをやって、心に残ったことが二つあります。
一つ目は、ぼうの持ち方がむずかしかったことです。なぜなら、かた手で持つてはいけないし、白いテープの外がわを持たないといけないからです。
二つ目は、三位になれてうれしかったことです。アンカー(ぼく)に回ってきたとき、緑組とせっせんでした。ぼくは、「せつせつに負けない」という気持ちで走りまわりました。緑組のアンカーもとなりを走っているのが見えて、とてもこわかったです。でも、ぼうを上げたとき、勝ちがきました。
来年ののだんたいしゅ目では、一位を目指したいです!